

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 修多羅 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 本市における調査内容

(1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

児童質問紙「運動やスポーツが好き。」や「健康でいるために、運動は大切である。」の質問に対し、ほとんどの児童が肯定的な回答をしている。体育の授業以外に、休み時間や放課後に元気に体を動かしている児童が多い。また、体育の授業に対して、積極的に活動に取り組みもうとしている児童が多く、教師や友達と関わりながら、自分の力を伸ばそうと取り組んでいることがわかる。生活習慣については、睡眠や朝食など、基本的な生活習慣がきちんと身に付いている一方で、テレビやパソコン、ゲームなどの視聴時間が長い児童の割合が高い。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

本校が取り組んでいる次の3点を今後も継続して取り組む。
・めあてとねらいを明確にし、児童が、自分の課題やその解決等の見通しをもって取り組むようにする。
・個に応じた場の設定や指導の工夫を行い、児童が達成感を味わい、意欲的な活動できるようにする。
・準備運動の際には、パワーアッププログラムから1種目を選んで取り入れる。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

体育委員会などを中心に、曜日を設定して15分休みや昼休みを活用し、なわとびやキッズダンス、その他様々な運動を楽しむ「チャレンジタイム」を設定し、活動を行うようにする。